

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 017	提案機関名 一般社団法人神奈川県畜産会
要望問題名 県内牛群の高能力化を目指した OPU 技術の実用化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 優良な遺伝子を持った牛群（乳牛・肉牛）を効率的に増産するため、遺伝情報を元に優良未経産牛からの採卵技術の実用化に取り組んでいただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	大家畜グループ
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 未経産牛における OPU を用いた後継牛確保対策（令和2～6年度）			
対応の内容等 県内畜産農家においてもゲノミック評価を利用した後継牛生産の取り組みが始まっており、OPU 技術との組み合わせで、より効率的に牛群改良を推進できることが期待されます。 当所では、令和2年度からホルスタイン種未経産牛において OPU 実施可能月齢の調査を開始しました。来年度以降、未経産牛での OPU 実施と、未経産牛に適した過剰排卵処理法も含め、段階を踏んで検討していきたいと思っております。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			